

令和2年6月26日 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和2年6月26日（金）午前9時00分～午前10時20分
- 会 場 市役所 応接会議室・庁議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、生活安全課長（市民環境部長代理）、健康福祉部長、次世代支援部長、農林課長（経済部長代理）、経済部企業立地担当部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、観光交流課長、歴史文化財センター所長、秘書係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 7月12日（日）に市議会議員選挙がある。公務員として行動に注意してほしい。
- 6月19日（金）に、市が申請していた「月の都 千曲」が日本遺産に認定された。地域でも喜びの声が上がっている。来週は上田市長と日本遺産の連携について懇談する。また木曾からも連携について話があった。日本遺産の認定は大きな影響力がある。暗い話題が多い中、市民も元気が出たと思う。
- 過日、千曲川と沢山川の改修について県議会へ請願した。
- 一昨日は、県立歴史館との連携協定を結んだ。今後も様々な団体と連携し、千曲市のPRと経済の活性化に取り組んでいきたい。
- 新型コロナウイルスへの対応について、長期的な視野に立ちながら経済対策をしっかりと進めていく。

3. 会議事項

（1）日本遺産の認定について【教育委員会】

◆説 明【資料1参照】

- 当市が認定を受けた日本遺産は「月の都 千曲－姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色『田毎の月』－」。古くから月の名所であることから「月見」をテーマとした。姨捨の棚田、長楽寺、姨捨駅、武水別神社、松田家や稻荷山重要伝統的建造物群保存地区など、29の構成文化財を3つのテーマに整理してストーリーを構成した。
- 日本遺産には、5年間で104箇所が認定され、本年度が最後の認定となった。
- 今後、1か月以内に（仮称）千曲市日本遺産推進協議会を立ち上げ、本年度の事業計画を策定し、国へ提出する。3年間の事業計画としているが、その後も継続して取り組んでいく。
- 全庁を挙げて取り組まなければならない内容のため、各部長の協力をお願いしたい。
- 昨日、庁内調整会議を開催した結果、観光交流課、歴史文化財センターが事務局となり、庁内の調整は総合政策課が担当することになった。

◆主な意見・質疑等

- 今年度の予算は9月補正に計上するのか。

【回答】今後の補助金申請事務のスケジュールを確認したが、9月補正への計上で問題ない。
○協議会の設置は1か月以内を目途ということだが、協議会にとらわれずに補助金申請等の事務は進めていくということか。

【回答】協議会が補助金の申請者となる。タイトなスケジュールに加え事務量が多いので、各部の応援をお願いしたい。

○今後、どこの部署が核になって進めるのかが大事。観光交流課、歴史文化財センターが事務局になるという説明だが、それぞれ棲み分けをして進めるのか。

【回答】観光振興やインバウンド等の事業は、観光部局が中心になって進める。文化庁への補助金申請事務は歴史文化財センターが担当する。

○このようなプロジェクトの場合、縦割り感が強いとうまくいかない。担当以外の仕事にも意見を出し合ってほしい。総合政策課にはトータルコーディネートをお願いしたい。認定はゴールではなくスタート。これから日本遺産をどう活かしていくかが大事。皆でスクラムを組んで進めてほしい。

○これまで4年間にわたり、教育委員会を中心に推進してきた。今後は全庁を挙げて推進し、千曲市の繁栄につなげてほしい。

○先進地の事例を調査してほしい。また、関心を持っている市民団体がいくつかあるため、協議会の中に入れてもらえるようにしてほしい。

【回答】承知した。

○今後の展開の中で専門の部署を作る予定はあるのか。

【回答】3年間は事務量が集中する。人員配置を要求したい。

○人員配置の前に、どんな事業を行っていくかを定めるべきだ。

○資料の中に活用推進事業がいくつか記載されているが、これをベースに事業計画を組み立てていくということか。

【回答】そのとおり。ただし、市民の中にも嫉妬の棚田について知らない方がいるため、各部署でプラスアルファの事業を考えていただき、実施計画にまとめ予算要求していきたい。

○「日本遺産」の看板設置の予定はあるのか。

【回答】設置する予定だが、設置場所は検討する必要がある。

○PRには民間活力も必要。企業の封筒に日本遺産のマークや「月の都 千曲」を印刷してもらうとか、商工会議所、商工会に働きかけたりしたらどうか。また市の封筒や市職員の名刺に印刷することも必要。日本遺産の趣旨は、日本遺産を活用して地域創生を図ること。それぞれの部局で、観光だけに捉われずに皆でやるのがPRに繋がる。

◆協議結果

○組織については、計画が具体化したところで改めて考える。当面は全庁的に横の繋がりを良くし、協力し合いながら全力で対応する。

○実施計画は、必要に応じて庁内調整会議を開催して策定する。

(2) 令和2年第2回市議会(6月)定例会委員会における課題と今後の対応【各部】

◆説明

(各部長から委員会における質問、答弁要旨、今後の課題、具体的対応策を報告)

◆協議結果

○情報共有。

4. 各部課長からの報告事項等（主なもの）

【総務部長報告】

- 他市で飲酒運転をした職員が処分されたと新聞報道があった。各部において再度啓発をお願いしたい。
- 災害時に市職員だとすぐに分かるようにするため、統一したビブスを購入し全職員に配布する。
- 今年の防災訓練は、9月6日（日）に行う予定。内容を一新し、避難に特化して行う。職員は原則各地区で行われる訓練に全員参加とする。

【生活安全課長報告（市民環境部長代理）】

- 環境負荷の軽減や二酸化炭素の削減を目的に、市内の防犯灯のLED化事業に取り組んでいる。事業の公募を行ったところ3者から応募があり、昨日プレゼンテーションを行った。今後、優先交渉権者が決まり次第、協議・契約をしたい。9月までに現地調査を行い、10月から交換工事に入る予定。

【健康福祉部長報告】

- 新型コロナウイルス対策について、自粛が解除されたことに伴い、会議やイベントを開催されていると思うが、職員に周知している国・県の対応を参考に、新しい生活様式により行ってほしい。また熱中症予防にも配慮してほしい。

◆主な意見・質疑等

- 厚生労働省の新型コロナウイルスの接触確認アプリに不具合が生じているようだ。

【回答】現在、担当者がアプリを入れて様子を見ている。

【建設部長報告】

- 将来、空き家の所有者となる可能性のある高齢者世帯に対して、終活について考えるきっかけとしてもらうため「私と家族の安心ノート」を作成した。建設課、高齢福祉課、市民課、税務課の各窓口を用意しているので活用してほしい。

【議会事務局長報告】

- 市議会議員選挙後、8月上旬に議会臨時会の開催を予定している。9月議会の日程は臨時会以降に公表する。

【総合政策課長報告】

- 令和元年度「ふるさと千曲市応援寄付金」の状況がまとまった。寄付金総額2億3,609万2,238円、諸経費8,293万9,954円、控除となる住民税額3,932万1,146円で、総計差し引き1億1,383万1,138円の黒字となった。【資料2参照】
- 現在行っているガバメントクラウドファンディングの状況は、本日の8時30分現在で「新型

コロナウイルスと闘う地域の医療従事者を応援したい」が31件、88万8,300円、「千曲市の逆境に立たされている旅館・ホテルなどの事業者を応援したい」が36件、167万8,000円となっている。

○千曲市出身で県外在住の学生に市の特産品を送り生活を支援する「ふるさと千曲学生応援便」は、6月25日（木）午後5時現在で、253件の申し込みがあった。

【財政課長報告】

○国の第2次補正予算に伴う、市の第5号補正を行う。予算要求の締め切りを7月6日（月）とし、専決処分する予定。国や県の補助メニューを確認して予算要求してほしい。なお市単独事業は国の地方創生臨時交付金の対象となるかを、事前に総合政策課と協議してから予算要求してほしい。

◆主な意見・質疑等

○新型コロナウイルス関連で、国がGo Toキャンペーン、県がふっこう割等を行っており、市も追加の経済対策を予定している。しかし一番心配なのは、国や県の支援が終了した後のこと。地方創生臨時交付金を来年度に繰り越すことができるか確認してほしい。過去に公費での支援が終了した途端に客足が落ちた例がある。そうならないためにも、長期的に経済対策を行っていかなければならない。

○地方創生臨時交付金を、災害用の段ボールベットやプライバシーテント等、3密を避けるための備蓄品の購入に使えるのか確認してほしい。また、それらの備蓄品の置き場所も検討してほしい。

5. 閉 会